

バイオマス熱利用ユーザー協会・準備会設立趣意書（案）

2025.6.24

1. 設立趣旨

近年、地球温暖化／気候変動の深刻化やエネルギー価格の高騰により、持続可能な地域エネルギー利用システムの構築が求められています。日本国内においても、給湯、農業施設、暖房等の用途に加え、他の再生可能エネルギー熱では供給が難しい中高温の工場での産業用熱のためのバイオマス熱利用事業に注目が集まっています。

しかしながら、日本国内でのバイオマスによる熱利用は、欧州諸国と比較すると導入が遅れており、その背景には ①高い初期投資コスト、②燃料供給の不安定さ、③技術者不足、④ユーザーの理解不足 などの課題が存在しています。

これらの課題に対処するため、私たちは地域の特性を生かした熱利用事業の普及・拡大を図ることを目的として、「バイオマス熱利用ユーザー協会」を設立します。本協会を通じて、地域の未利用バイオマス資源を活用し、低炭素で持続可能なエネルギー利用の推進します。

2. 協会の目的

本協会は、ユーザーの視点に立ってバイオマス熱利用導入に関わる課題解決に取り組み、コストパフォーマンスに優れたバイオマス熱利用システムの改善・導入支援および運用ノウハウの提供によって熱利用を推進し、地域経済の活性化と脱炭素社会の実現に寄与することを目的とします。

3. ユーザーとは

バイオマス熱を使う工場、施設、農林漁業、地域熱供給、事業所、住宅等

4. 協会の活動内容

- 1) バイオマス熱利用、特に産業用熱のユーザーと事業者（ボイラーメーカー、コンサルタント、コーディネーター、建設事業者、燃料供給事業者等）との連携
- 2) 1) についての調査、情報提供、ユーザー間等の情報交換の場の提供
- 3) 1) に関わる課題の抽出と解決に向けての活動
 - ・安定したバイオマス燃料供給体制の確立
 - ・技術開発と人材育成の推進
 - ・企業・自治体向けの導入相談窓口の設置の働きかけ
 - ・停止している熱利用設備の再生
- 4) ユーザーとの連携と関係者への啓発活動の強化
 - ・ユーザー向けセミナーや講習会の開催
- 5) 1) に関する政策提言および制度整備の推進

・特に、エネルギー基本計画等におけるバイオマス熱の重要性について関係者に喚起する

6) その他、バイオマス熱利用事業普及に関わる活動

5. 協会の組織体制

本協会は、以下の組織構成で運営されます。

理事会：協会の運営方針を決定（民間事業者、自治体、研究機関の代表で構成）

事務局：協会の運営・調整、政策提言、広報活動を担当

技術部門：技術開発、人材育成、設備運用支援を担当

燃料供給部門：燃料調達、物流最適化、品質管理を担当

地域連携部門：住民啓発活動、協働事業の推進を担当

設立時の目標メンバー数（目標）：

企業・自治体・研究機関 50 団体 以上

ユーザー 50 以上

初年度の予算規模：

10,000,000 円（補助金活用・民間資金調達を含む）

6 設立への呼びかけ

バイオマスボイラーを活用した熱利用事業は、地域の持続可能な発展に寄与する大きな可能性を持っています。本協会は、ユーザー、行政、民間企業、研究機関、燃料供給者等が一体となって協力し、日本におけるバイオマス熱利用の新たな未来を切り拓くことを目指します。

この趣旨にご賛同いただける方々のご参加を、心よりお待ちしております。

7. 設立予定日：令和 7 年 1 1 月 1 日

8. 設立予定地：東京都

9. 発起人：

辻 保彦（辻製油株式会社代表取締役会長）

山本登（NPO 法人農都会議代表理事）

武内賢二（ソーラーワールド株式会社代表取締役）

高橋章（NPO 法人農都会議理事・監査役）

安藤慎純（辻製油株式会社製油事業本部次長）

松浦晃（NPO 法人農都会議副代表理事）

中野志保（ソーラーワールド株式会社）
泊 みゆき（NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク理事長）
谷渕庸次（飛騨高山グリーンヒート）
日當和孝（久慈バイオマスエネルギー株式会社代表取締役）
梶山恵司（WB エナジー代表取締役社長）

10. 当面のコンタクト先

バイオマス熱利用ユーザー協会準備会

住 所：〒105-0013 東京都港区浜松町 2 - 5 - 5 PMO 浜松町 13F
辻製油東京事務所内

電話番号：023-654-2902（ソーラーワールド株式会社内）

E-mail：info@bbua.or.jp

URL：<https://www.bbua.or.jp>（作成中）